

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 2018 年 7 月 16 日

学籍番号	17PDA08	学系	教育・コーチング学系
氏名	田中 良		
学会等名 (正式名称)	23 rd Annual Congress of the European College of Sport Science		
開催日程	2018 年 7 月 4 日 ~ 2018 年 7 月 7 日		
開催場所 (国・都市名)	Dublin - Ireland		
発表演題名	The effect of introduction of standing desks to an elementary school		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> この学会への参加は、一昨年前ぶりであった。印象としては、前回参加した際よりも日本人を含むアジア人の参加者が多いと感じられたことが挙げられる。実際、会員の約半分はアジア人とのことであった。本学会大会の規模は、例年夏に開催される日本体育学会に相当する。日本体育学会では、各研究領域（生理学、心理学、教育学等）で発表ブースが分かれている一方で、本学会大会では研究テーマ（身体活動、筋活動、実行機能等）で発表ブースが分かっていた。この点は、自分と同じ研究テーマに取り組む分野外の研究者の意見聞けて大変有意義であったと感じた。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> 本学会大会では、小学生による立ち机の利用が身体活動、ねむけ、抑うつ、大脳前頭葉実行機能に与える影響について検討した結果を報告した。これは、長すぎる座位時間の危険性が指摘されたことを背景としている。本学会大会では、子どもの座位時間を減少させる取り組みについての他の研究者から報告があることを期待したが、そのような報告は意外にも少なかった。座位時間の客観的評価方法の検討、関連要因の検討、平日と休日との差の検討等が多かったように記憶している。これらは、座位時間の現状が未だ明らかでないことと、改善のための取り組みの創造の必要性を推測させた。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 報告への質問は、立ち机を利用したクラスの担任の先生のコメントや、今後の展望についてであった。それらの点については、担任教師からうかがった話の内容、本年度夏に取り組む予定の研究内容を説明することで回答とした。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後 2 週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。